

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月31日

事業所名：運動療育センターすきっぷ 下原教室

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	◎活動時にはグループ分けをして、リスク管理をしている。 ◎整理整頓は日頃から心掛けている。またグループ分け等で広いスペースをとり、安全面にも注意している。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		○他事業所に比べて、職員の配置数は多くしている
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		○必要に応じて対応していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	50%	50%	◎今後事業計画をもとにしています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		○アンケートを元に改善していく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	◎年に一度あげている。 ◎毎年3月に公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%	◎改善の指摘があれば随時対応している	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		○各専門の会議を実施していく
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		○アセスメントやモニタリングを通して実態把握を行い計画書を作成している
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	◎全ての教室で統一したアセスメント表をつかっている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	◎スタッフの意見を聞きながら行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	◎スタッフの意見を聞きながら行っている ◎定期的に支援内容を検討し、必要に応じてプログラムを変更している。	○特性に応じた活動プログラムを実施している
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	◎支援会議の中で話し合いを行い、している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		○個別でできること、集団でできることを計画書に含めている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	◎朝礼、昼礼を行い把握している。 ◎時間をとり行っている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	◎みんなではないが、できるスタッフ間で行っている。 ◎業務就業時間が異なる為チャットワークで共有している。 ◎業務の関係でできない日もあるが何かあればアプリ上で伝達している ◎送迎等で終礼等が遅れた場合にも、チャットワーク等で職員間での情報共有をしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	◎簡潔な内容で、正しく行っている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	◎3ヶ月、6ヶ月で評価、見直しをしている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	◎各教室の管理者が出席をしている。 ◎資格取得者が必ず参加し、指導を受けながら参画している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	◎ラインで保護者の方と連絡をとっている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	◎医ケアの利用者がいない。必要になった場合実施していく。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	◎保護者の方との連絡のみ ◎お母様を通じての情報共有が多い	

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
関係機関や保護者との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	◎担当者会議や相談支援員の方を通して行っている	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		○必要に応じて助言等をしてもらっている
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	◎保護者の方が求めているため	○一部の保護者の方が望んでいないので、その方たちを尊重し実施していない
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0%	100%	◎療育協会を実施している。 ◎研修会などの紹介やそれへの自主参加の機会がある ◎個人での自己研鑽に努めている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	◎帰りの送迎時に伝達を行っている ◎面談や送迎の際の伝達を通して行っている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	67%	◎トレーニングと言えるまでは行っていないが、送迎時等にお悩みに対する助言はさせてもらっている。	○相談に応じて都度応じていく
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	◎契約時に実施している	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	◎契約時に実施している	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	◎コロナ禍の為できていない。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		○必要に応じて行っていく
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	◎ホームページにて行っている。	
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%	◎教室事態の施錠確認はしているが、子ども達のファイルが入ったロッカーは施錠していない	○今後施錠していく
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	◎コロナの為出来ていない	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	33%	67%	◎保護者への周知は行えていない	○今後会社全体でどんな風に周知をしていくか話し合っていく
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	◎定期的に避難訓練を行っている	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	67%	33%	◎新人研修の際に実施している ◎研修の定期的な機会は設けていないが入社時などに行っている	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	◎契約時に同意を得ている	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	◎都度保護者の方に確認をしている	
	43 ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	◎チャットワークで全事業所で情報共有をしている	